

水道問題、MOOのプール、震災や原発事故の影響など

フィットネスセンターの利用拡大こそ、市役所の仕事ではないですか!!

問 市は毎年運営費で七千万円以上使っていることに市民理解は得られないというが、廃止を求める世論はほとんど聞かない。市民に利用してもらおうことが、真の解決ではないのか。

答 会員中心の利用で会員一人6万円の市費を投入していることになる。利用拡大策が足りないという指摘は受け止めます。

問 鳥取プールは深さの問題もあり、水中ウォーキングに適さない。

答 プールの底のかさ上げやウォーキングレーンを増やすことで対応したい。

問 議会議論は廃止を求めたものではなく、この間の議会議論をどう考えているのか。

答 廃止ありきではなく、施設の存廃も含めて議論するとしてきた。これからもしっかり議論させていきたい。



都市整備部で3つの成果

問 阿寒川の河口部に、消波ブロックのなるところが30メートルあり、その前後も低くなっている。かさ上げなどの対策をすべきでないか。

答 5月に道と市で現地を確認した。北海道もなんらかの対策が必要と認識した。

問 中鶴野や昭和北の住宅地に隣接した排水路の安全対策を講じるべき。

答 埋めることはできないが、心配な箇所については立ち入り危険などの掲示板を増やす。

問 鳥取市営住宅の避難はしご、避難ハッチなどはどうなっているか。

答 鳥取T4の避難ハッチは腐食が激しいので補修する。避難はしごも安全策を考えたい。



経済建設常任委員会でも、議論の先頭に

新浄水場は安全対策第一で

愛国浄水場を新しくすることが決まっていますが、運転の間委託をめぐって、どんな発注方式にするか、議論になっています。コンサルタントの報告では、災害時の対応や事故時の対応は、建設から運転までトータルで民間に委託するDBO方式、運転業務の包括民間委託が、安全性が一番担保されないと判断されました。

私は、「震災を経験し、ライフラインの根幹としての水道の役割は重要。安全性の高い発注方式を選び、運転の根幹業務は民間委託すべきでない」と迫りました。



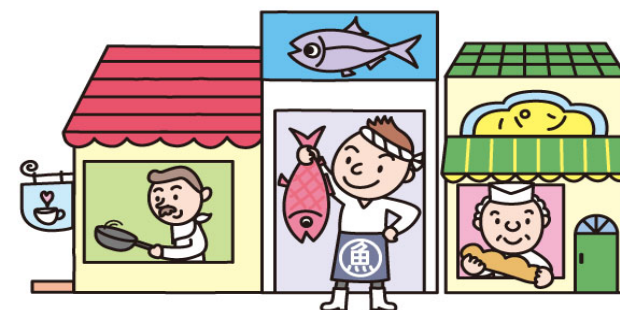
釧路経済への影響を最小限に抑えるために

サンマ漁船の多くが三陸海岸で被災、サンマの水揚げが心配されること。原発の風評被害による魚の販売不振。そして、取引業者が被災して、仕事が激減している業者への運転資金の手立てなどについて質問、必要な対策を強く求めました。



議員定数が減って、常任委員会の数も4から3に。私の所属した経済建設委員会でも、課題が山積しています。

また、市がフィットネスセンター(MOO)のプールを来年3月で閉鎖すると発表、市民団体から存続を求める陳情が急ぎよ、市議会に提出されました。こうした問題についての私の質問を紹介します。



村上かずしげ通信